

奥田北校下社会福祉協議会の状況

令和3年4月現在

設立年月

昭和56年4月

会 長	渋谷 征雄	副会長	清水 章、竹中 敏一、橋爪 貴彦						
事務局所在地	奥田北地区センター内								
事務局電話番号	442-3197	事務局FAX	443-1613	事務担当	森田 清志 (地区センター所長)				
人 口	9,168	人	世帯数	3,748	世帯	高齢化率	31.8	%	
当年度予算額	3,603,890	円	年会費(1世帯)	0	円				
主な活動等	<p>奥田北地区における地域社協の役割は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域づくりを進めていくことです。住民の参加と協働を基本として、地域ニーズに対応した福祉の充実を図るため、住民同士で支えあうことを大切にしながら地域福祉活動に取り組んでいます。</p> <p>現在、粟島ふれあい会館などの自治公民館で実施している「いきいきふれあいサロン」は、地域福祉活動のベースとなっていて、一人暮らし高齢者の社会参加の場として必要不可欠な交流会となっており、地域における様々な情報が「ふれあいケアネット事業」などの細やかな支援活動などに繋がっています。</p> <p>高齢者と小学校児童との世代間交流として、ジャガイモ栽培体験や稲作体験事業を行っており、ジャガイモ栽培や稲作体験を通じて、植物や自然に触れることで子ども達の主体性や自主性を引き出すとともに、野菜や米を収穫することで自然摂理の理解につなげていくなど、児童の情操を養う役割も果たしています。更に地域の高齢者の方々と児童が、とれたもち米で「餅つき」をして収穫の成果を一緒に味わう交流会など、体験自体の達成感や地域の方々との繋がり感等の醸成を図る活動となっています。</p> <p>また、平成29年度からは、新たに「ふれあいケアネット事業」にも取り組み始めており、民生委員・福祉推進員を中心とした地域の福祉人材を養成し、見守り体制づくりを進めるとともに、対象者に世代間の交流・ふれあいの場を提供するなど、誰もが安心して暮らせる地域づくりの取り組みを進めていきたいと考えています。</p>								
									
	稲刈り作業		高齢者と児童が一緒に収穫の成果を味わう交流会						
会長のメッセージ	<p>現在はコロナ禍であり動きにくい状況下ではありますが、地域自治振興会とともに、誰もが地域の福祉に関わるつながりと信頼関係を保ちながら、生きがいのある生活環境づくりに務めていきたいと考えております。</p>								